



佐 潟 通 信

2017年9月

61号

◆ 佐潟のようすⅠ



今シーズンの佐潟の湖面は、昨年に続きハスが極端に少なかったですが、咲き始めたハスの花は8月上旬の暑さをピークに佐潟を飾りました。

お盆前に佐潟の風物詩となっている「ハスのつぼみ採り」が行われ、お盆花として市場に出荷されました。ラムサール条約の理念であるワイズユース(賢明な利用)の活動のひとつです。



ヒヨドリ



コシアキトンボ



カルガモの親子



稲穂とミズアオイ



夕焼けの佐潟

◆ 佐潟のようすⅡ

地域のイベント

佐潟まつり 8月26日

佐潟まつりは、佐潟観光協会が主催し、佐潟で最も多くの人が集まるイベントです。恒例の子ども神輿に舞や演奏がにぎやかに行われ、夜は1000個の子ども燈籠や大スターマインで祭りを盛り上げました。



赤塚中学校音楽部



◆ 佐潟のようすⅢ

佐潟子ども向け自然探検隊(さかたん)

第2回 植物観察とワイズユース体験(8月20日)

第3回9月17日は稲刈りを計画中

佐潟探検隊の15人は漕舟に乗り、広い佐潟の湖面でハス採りを行いました。また5月に田植えをした潟端の田んぼで、稲穂が出ている様子を観察しました。田んぼの中には、なんとミズアオイも確認できました。佐潟公園内でザリガニ釣りや小魚取りにも挑戦し、楽しい潟での時間を過ごしていただきました。



ザリガニ釣り



ハスの葉で遊ぶ



ガマの茎採り

◆ 佐潟のようすⅣ

ぼくと私の夏休み 佐潟で昆虫をじっくり観察してみよう

7月22日新潟大学いきものサークルと新潟自然史研究会の指導のもと、親子37人の参加者は、佐潟公園で夏の生き物を観察しました。子どもたちは、定番のバッタ・カマキリを見つけて楽しんでいただきました。講師がヘビを捕まえて驚く場面もあり賑やかな観察会となりました。



夏休みの企画

・・・がんばれちびっこ・・・

水辺の生きもの観察し隊！

8月6日夏休み中の元気な子ども達16名は、佐潟にすむ昆虫や水辺の生きものを観察し、その名前や特徴を学習するとともに、生きものの命の大切さを学びました。



◆ 佐潟のようすⅤ

外来生物「セイダカアワダチソウ」の駆除

梅雨時期の7月初旬、ボランティアさんによる「セイダカアワダチソウ」の駆除をおこないました。少しでも花の開花前に駆除したい思いから早朝より駆除作業にチャレンジしました。秋期に見られる黄色い花がまだついていない、丈が80センチほどに伸びた青々とした茎を根っこから引き取り、乾燥してから廃棄処分しました。

◆ 佐潟のようすⅥ

カムリカイツブリの親子を確認 繁殖成功

6月初旬に、カムリカイツブリがヨシや水生植物の茎や葉を頻繁に運び、巣作りしている様子が観察できました。7月1日には、親の背中から顔を出すヒナの姿を確認しました。

誕生したヒナは4羽で、数日後少し成長したヒナは親鳥の背中から降りて泳いでいました。ヒナは縦縞模様で親鳥のあとについて泳ぐ様子がほほえましく観察されました。

カムリカイツブリは、佐潟には冬鳥として秋冬時期に多く飛来していますが、過去には2012年に繁殖が確認されています。佐潟では、ヒナの給餌に必要な小魚が豊富に生息しているため、魚食性であるカムリカイツブリの繁殖の成功につながったのではないかと考えられます。



佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）
【休館日】月曜日（祝休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）



ラムサール条約湿地

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1

電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。